



2020年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年12月26日

上場会社名 株式会社出前館 上場取引所 東  
 コード番号 2484 URL <https://corporate.demaecan.com/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 利江  
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 ビジネスサポート本部長 (氏名) 宮下 淳 (TEL) 03-4500-9380  
 四半期報告書提出予定日 2020年1月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期第1四半期の連結業績(2019年9月1日~2019年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第1四半期	1,817	26.8	△210	—	△202	—	△220	—
2019年8月期第1四半期	1,433	18.8	102	△50.1	111	△46.8	91	△35.4

(注) 包括利益 2020年8月期第1四半期 △238百万円( —%) 2019年8月期第1四半期 166百万円( △2.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第1四半期	△5.38	—
2019年8月期第1四半期	2.25	2.21

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第1四半期	7,181	2,481	34.3
2019年8月期	7,084	2,839	39.8

(参考) 自己資本 2020年8月期第1四半期 2,460百万円 2019年8月期 2,819百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期	—	0.00	—	3.60	3.60
2020年8月期	—	—	—	—	—
2020年8月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年8月期(予想)配当金につきましては、現時点において未定です。具体的な配当金額につきましては、決定後速やかに公表いたします。

3. 2020年8月期の連結業績予想(2019年9月1日~2020年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,300	39.5	△1,500	—	△1,500	—	△1,600	—	△39.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
- (注) 詳細は、四半期決算短信（添付資料）8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年8月期1Q	44,390,500株	2019年8月期	44,390,500株
2020年8月期1Q	3,279,074株	2019年8月期	3,455,074株
2020年8月期1Q	40,989,074株	2019年8月期1Q	40,623,038株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、経済情勢等様々な不確定要素によりこれらの予測数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年9月1日から2019年11月30日)につきまして、当社グループは、当社のメインビジネスである「出前館事業」の拡大に向けた取り組みを継続的に行っております。当社ではシェアリングデリバリー®の拡大を通じて、単なる食事のデリバリーサービスから、これからの日本に欠かせないライフインフラへの転換を図るため、様々な施策を開始しました。

シェアリングデリバリー®のサービスエリア拡大につきましては、引き続き直営を中心にエリア拡大を進めていることに加え、差配システムの導入等による配達の効率化もスタートしました。

加盟店の拡大については、「大戸屋ごはん処」や「ほっともっと」等、日常食としてご利用しやすいジャンルの拡充を進めていることに加え、株式会社エフピコと共同で需要の伸びている麺類向けにデリバリー特化型容器を開発致しました。

ユーザー利用の拡大については、日常にご利用しやすいよう最低注文金額の引き下げを順次進め、マーケティングにおいても、各エリアの状況に合わせた施策を実施してまいりました。また、12月からは、浜田雅功氏にCDO(チーフ出前オフィサー)として就任いただき、新CMと合わせた訴求により、出前館の認知度向上と出前の日常利用促進を図っております。

これらの施策により、需要の伸びる12月においては、日別オーダー数の最高記録を更新致しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,817,120千円(前年同期比26.8%増)と引き続き事業の拡大が続いているものの、積極的な事業展開と投資実行により、利益については、営業損失は210,162千円(前年同期は102,791千円の営業利益)、経常損失は202,059千円(前年同期は111,964千円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は220,604千円(前年同期は91,524千円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

区分	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)		増減	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	増減率(%)
出前館事業						
基本運営費	114,311	8.0	133,389	7.3	19,078	16.7
オーダー手数料	703,051	49.0	822,251	45.3	119,199	17.0
配達代行手数料	17,422	1.2	217,241	12.0	199,819	1,146.9
その他	281,858	19.7	337,028	18.5	55,169	19.6
小計	1,116,643	77.9	1,509,910	83.1	393,266	35.2
通信販売事業	316,928	22.1	307,210	16.9	△9,717	△3.1
合計	1,433,572	100.0	1,817,120	100.0	383,548	26.8

(注) 出前館事業に占めるシェアリングデリバリー(直営)の比率が増えてきましたので、当第1四半期連結会計期間より記載を変更しております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①出前館事業

出前館事業セグメントにおきましては、当第1四半期連結会計期間末におけるアクティブユーザー数は約310万人(前年同期比13.4%増)、加盟店舗数は20,720店舗(前年同期比16.2%増)、オーダー数は約715万件(前年同期比13.7%増)、シェアリングデリバリー®拠点数に関しましては239拠点(前年同期比206.4%増)となりました。

また需要の伸びる12月においては、浜田雅功氏のCDO(チーフ出前オフィサー)就任と合わせた新CMをスタートさせており、日別オーダー数の最高記録を更新致しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高の内訳は、基本運営費133,389千円、オーダー手数料822,251千円、配達代行手数料217,241千円、その他337,028千円となり、セグメント売上高は1,509,910千円(前年同期比35.2%増)となりました。

②通信販売事業

通信販売事業セグメントにおきましては、飲食店向けに焼酎などの通信販売を行い、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は307,210千円(前年同期比3.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における流動資産残高は、前連結会計年度末比で70,757千円増加し、5,626,377千円となりました。主な要因は、未収入金が58,592千円、受取手形及び売掛金が55,299千円増加した一方、現金及び預金が38,785千円減少したことによるものです。

固定資産残高は、前連結会計年度末比で26,087千円増加し、1,554,689千円となりました。主な要因は、ソフトウェアが102,276千円増加した一方、ソフトウェア仮勘定が44,624千円、投資有価証券が24,069千円減少したことによるものです。

この結果、総資産残高は、前連結会計年度末比で96,845千円増加し、7,181,067千円となりました。

流動負債残高は、前連結会計年度末比で464,126千円増加し、4,667,624千円となりました。主な要因は、未払金が493,347千円増加した一方、未払法人税等が25,764千円、賞与引当金が14,657千円減少したことによるものです。

固定負債残高は、前連結会計年度末比で8,789千円減少し、32,061千円となりました。主な要因は、その他が8,789千円減少したことによるものです。

この結果、負債残高は、前連結会計年度末比で455,337千円増加し、4,699,686千円となりました。

純資産残高は、前連結会計年度末比で358,492千円減少し、2,481,380千円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失220,604千円の計上、剰余金の配当147,367千円の支出、その他有価証券評価差額金が17,799千円減少したほか、自己株式の処分34,117千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月期の連結業績予想につきましては、2019年10月10日公表の「2019年8月期 決算短信」に記載した連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,185,728	2,146,942
受取手形及び売掛金	221,296	276,595
商品及び製品	61,687	56,192
未収入金	2,994,747	3,053,339
その他	149,826	151,613
貸倒引当金	△57,665	△58,306
流動資産合計	5,555,619	5,626,377
固定資産		
有形固定資産	162,039	151,510
無形固定資産		
ソフトウェア	741,617	843,893
ソフトウェア仮勘定	80,227	35,603
その他	138	138
無形固定資産合計	821,983	879,635
投資その他の資産		
投資有価証券	374,070	350,000
差入保証金	119,942	123,413
繰延税金資産	16,311	16,311
その他	35,898	35,009
貸倒引当金	△1,643	△1,191
投資その他の資産合計	544,579	523,543
固定資産合計	1,528,601	1,554,689
資産合計	7,084,221	7,181,067

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	87,931	83,949
短期借入金	800,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	3,634	2,632
未払金	3,069,776	3,563,124
未払法人税等	49,332	23,568
賞与引当金	50,032	35,375
その他	142,791	158,975
流動負債合計	4,203,497	4,667,624
固定負債		
その他	40,850	32,061
固定負債合計	40,850	32,061
負債合計	4,244,348	4,699,686
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,113,382	1,113,382
資本剰余金	651,365	644,572
利益剰余金	1,562,423	1,194,450
自己株式	△669,763	△635,646
株主資本合計	2,657,407	2,316,759
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	161,725	143,925
その他の包括利益累計額合計	161,725	143,925
新株予約権	20,740	20,696
純資産合計	2,839,873	2,481,380
負債純資産合計	7,084,221	7,181,067

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2018年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2019年11月30日)
売上高	1,433,572	1,817,120
売上原価	545,212	689,034
売上総利益	888,359	1,128,086
販売費及び一般管理費	785,568	1,338,248
営業利益又は営業損失(△)	102,791	△210,162
営業外収益		
受取利息	39	—
貸倒引当金戻入額	5,005	—
持分法による投資利益	4,754	9,589
その他	420	557
営業外収益合計	10,219	10,146
営業外費用		
支払利息	563	461
租税公課	—	1,326
為替差損	455	—
その他	28	255
営業外費用合計	1,046	2,043
経常利益又は経常損失(△)	111,964	△202,059
特別利益		
関係会社株式売却益	15,667	—
特別利益合計	15,667	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	127,631	△202,059
法人税等	36,106	18,545
四半期純利益又は四半期純損失(△)	91,524	△220,604
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	91,524	△220,604



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2018年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2019年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	91,524	△220,604
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	76,470	△17,799
為替換算調整勘定	△1,043	—
その他の包括利益合計	75,426	△17,799
四半期包括利益	166,951	△238,404
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	166,951	△238,404
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益または税引前四半期純損失に法定実効税率を乗じた金額に、繰延税金資産の回収可能性を考慮しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

## I. 前第1四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	出前館事業	通信販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,116,643	316,928	1,433,572	—	1,433,572
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	53,598	53,598	△53,598	—
計	1,116,643	370,526	1,487,170	△53,598	1,433,572
セグメント利益	113,880	42,075	155,955	△53,164	102,791
その他の項目					
減価償却費	49,153	4,011	53,164	—	53,164

(注) 1. セグメント利益の調整額△53,164千円は、報告セグメントの減価償却費であります。

2. 各報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II. 当第1四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	出前館事業	通信販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,509,910	307,210	1,817,120	—	1,817,120
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	64,373	64,378	△64,378	—
計	1,509,915	371,583	1,881,499	△64,378	1,817,120
セグメント利益又は損失(△)	△182,722	45,377	△137,344	△72,817	△210,162
その他の項目					
減価償却費	68,865	3,951	72,817	—	72,817

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△72,817千円は、報告セグメントの減価償却費であります。

2. 各報告セグメントのセグメント利益又は損失(△)の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。